１．件名：原子力エネルギー協議会との面談

２．日時：令和２年１１月６日（金）１１：００～１１：３０

３．場所：原子力規制庁８階会議室

４．出席者：

原子力規制庁　原子力規制部原子力規制企画課　森下課長、榎本補佐
技術基盤グループ技術基盤課　佐々木企画調整官

原子力エネルギー協議会（以下「ATENA」という。）　事務局長、他２名（テレビ会議システムによる出席）

５．要旨：

〇ATENA から、第１３回新規制要件に係る事業者意見の聴取に係る会合（人間工学設計評価ガイド）（本年１０月２６日）にて ATENA から説明のあった、同ガイドに対する意見提出に関して、現在 ATENA 内部で調整中であり、次回の面談で提出することが可能である旨連絡があった。

〇原子力規制庁から、サンプスクリーンを通過したデブリが炉心に与える影響に関する米国の対応状況及びこれを踏まえた国内の対応に関して、本年１２月上旬に事業者側の検討状況を聴取するための公開会合を開催する予定である旨を伝え、ATENA に対応を依頼した。

〇原子力規制庁から、令和３年度の民間規格の技術評価計画に関する事業者意見の聴取について、来年１月下旬目途で会合を開催予定である旨伝えた。

〇ATENA から、前回面談（本年１０月３０日）で原子力規制庁から依頼した、接地型計器用変圧器の支持部にガタが有る場合の衝撃耐力に係る試験結果（第４３回技術情報検討会議題（１）２））の事業者へ周知について、周知を行った旨の報告があった。

〇原子力規制庁から、第５回発電用原子炉施設におけるデジタル安全保護系の共通要因故障対策等に関する検討チーム会合（本年１０月６日）にて ATENA から説明のあった原子力発電所におけるデジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障緩和対策に関する技術要件書（案）に関して、その後の進捗について説明を受けた。

６．配付資料：

なし

以上